



START! 一步を踏みだそう

毎年恒例24時間テレビのテーマです。そして、今年のマラソンは珍獣ハンターのイモトアヤコさんがフルマラソン3本分に当たる126.585kmを完走し、多くの感動を与えてくれました。ゴール後の第一声が「いろいろな方に支えられてゴールできました。本当に、今回のチャレンジを通して、まわりの人に恵まれていることをつくづく感じました。本当にありがとうございました」でした。素直な感謝の心の表れです。

さて、2学期がSTARTしました。2学期は、体育祭や合唱コンクール、職場体験学習(2年生)などの行事がある一方で、3年生は進路決定に向けてたくさんのテストや高等学校説明会などもあります。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋など、充実した秋にするためにも、次の4つのことをお願いしました。

- ◆ 進んであいさつをしましょう。明るいあいさつは、よい印象を与えるとともに活気があふれます。あいさつを通して、今まで以上に明るく元気な詫間中学校にしましょう。
- ◆ 服装・髪など、身なりをきちんと整えましょう。心のありようは身なりに現れます。身なりが整っている人は、心が整っている人で、落ち着いた活動ができる人です。
- ◆ 身の回りの整理整頓をしましょう。ロッカーや机の中のプリント類・教科書などの勉強道具、机の並べ方、歯磨きグッズを整理整頓しましょう。清潔で整った環境で落ち着いて勉学に励みましょう。
- ◆ 「早寝、早起き、朝ご飯」を徹底して、規則正しい生活を送りましょう。

115日間(2学期)の第一歩を踏み出しました。ゴールを迎えたときに、どんな言葉が聞けるでしょうか。

ルールとマナー

1学期から何度も言い続けてきた交通ルール。第11号では「さすが詫中生！」というタイトルで、登校中の様子がよくなったことをお知らせしました。「今日も1日がんばろう」という意気込みが態度に表れているからだと思います。しかし、それに反して、下校はあまりよくありません。部活動で疲れ切って帰るからでしょうか、それとも一斉下校で一度に多くの方が校門を出るからでしょうか、2~3列に広がって自転車を運転している人が多いようです。

そこで、一斉下校の昨日、学校から大下歯科までを歩いて、直接生徒の様子を観察することにしました。その際、少しだけ道の真ん中寄りを歩き、自転車がどのように通行するかを見てみると、ほとんどの生徒が大きな声で「さようなら」と気持ちのいいあいさつをしながら、1列で追い越していきます。途中で高橋先生が立たれていたのでなく、歩行者を考えてのことだと思います。大下歯科まで行くと、交通指導員の方が引かれた白線(ここまでは自転車を押して横断歩道を渡りましょうという合図)の所で、交通担当の前田先生が指導されていました。折り返して学校に戻ろうとすると、向こうから2~3列の生徒の大群が来るのが見えました。しかし、歩行者が見えたからでしょうか、「1列になれよ」という誰かの声ですーっと1列になり、これまたさわやかなあいさつをしながらすれ違って行きました。1年生男子の集団でした。

「1列で左側を通行する」というルールがあります。もちろん守らなければいけないルールですが、つつい2~3列になってしまうことがあるかもしれません。でも、すれちがう人に出会ったときに、きちんと1列になろうとする心、相手のことを考えて譲り合おうとする心、そして譲ってもらったときの感謝の言葉、これがマナーです。ルールもマナーもきちんと守れる詫中生であってほしいと思います。

◆◆◆◆◆ インフルエンザの対応について ◆◆◆◆◆

- 毎朝登校後、各学年の廊下の所で手指消毒をすることにしました。消毒液が新たに届き次第、各教室の入口に設置し、より徹底を図ります。また、手洗い、うがいはこまめにするように指導しています。
- 同居している家族がインフルエンザにかかった場合、感染者の濃厚接触者になってしまいます。その場合、子どもが登校してもよいかどうかの判断は、医師の指示に従ってください。もし、登校できない場合は、「欠席」ではなく、「出席停止」の扱いになります。